

「とくしまブランドギャラリー」整備事業について

1. 開設の目的

「徳島の食とライフスタイル」をテーマに、首都圏での情報発信と交流の拠点として、平成28年度中の開設を目指す。人と人との交流を生み出す機能により、県産品の販売拡大による農林水産業の振興とともに、「徳島ファン」を生み出し「とくしま回帰の流れ」に繋げる。

2. 施設の機能

- 飲食：県産食材をふんだんに使い、徳島ならではの演出をする「レストラン」
- 物販：レストランで実際に味わい、気に入った商品を購入できる「マルシェ」
- 宿泊：サービスを簡素化した安価なドミトリ形式の「ゲストハウス」
- 交流：県や運営管理者等が様々な催しを開催する「イベントスペース」

3. 公募事業の概要

- 事業名：「とくしまブランドギャラリー」整備事業
- 業務：完成後、県から転貸を受け、運営することを前提に、以下の事業を一体的に実施
 - (1)適切な物件の探索、確保、賃借
 - (2)施設改修(リノベーション)の設計
 - (3)施設改修の施工(設備の設置含む)

4. 委託業者の選定

- 審査日：平成28年4月27日(水)
- 審査委員：ブランド戦略、施設経営、マスコミ、建築、旅行など各分野の専門家7名
- 審査結果：(株)DIY工務店、(株)フォレストバンク、(株)ゲンボク（3社のコンソーシアム※）
- 委託額：232,500千円

※コンソーシアム：2者以上が共通の目的に沿った活動を行うために結成する共同事業体

5. 委託業者の特徴

- ・レストラン、ゲストハウス複合施設の運営に十分なノウハウを持つ企業と連携
- ・大手不動産会社やディベロッパーとの連携体制を持ち、高い物件探索能力を持つ
- ・県内生産者や事業者とネットワークを持ち、商品選定・調達の能力が高い

6. 今後のスケジュール(案)

- ・委託業者が探索した物件の候補から、県が物件を決定
- ・物件決定後、県が物件オーナーと「賃貸借契約」を締結し、委託業者がリノベーション
- ・施設の完成後、県と委託業者の間で「転貸借契約」を締結
- ・28年度中の開業を目指す